

●東京都町村議会議員講演会（東京都） 奥山 幸子  
令和8年5月7日 15時00分～17時00分

目的：議員の研修

演題 議会の災害対応とBCP

講師 跡見学園女子大学観光コミュニティ学部まちづくり学科  
教授 鍵屋 一 氏

成果

最近、東京都町村部におこった災害は

伊豆諸島（町村部）八丈島・青ヶ島 台風災害

伊豆諸島 伊豆大島・三宅島 火山・地震リスク

多摩地域 土砂災害、道路寸断などがあつた。

災害にも種類があり、災害対応にも個々の事情がある。しかし、人材不足と地理的孤立、高齢者の避難生活など共通している課題も多い。

1. 避難所対策 これまで通りの体育館などではなく、ホテル・旅館を利用する重要性を述べた。理由はプライバシーが守られること、清潔なトイレが確保されるからである。
2. 避難訓練の工夫 漠然とした避難ではなく、個別避難計画を行政と協力しながらしっかりとたてること。地域住民参加による訓練が必要であり、講師は「ひなんさんぽ」を提唱している。日頃声を掛け合うとなり近所の方と散歩しながら避難場所を把握していくことは、効果が大きいと述べている。
3. 災害時の議員の役割 災害時は行政、自治体職員が活動の中心となる。議員は住民の要望を伝える仕事があり、それ自体は重要であるが、行政に負担をかけることなく、行政と協力すること、情報の一元化に努めることが必要で訴えている。
4. 議会BCP（業務継続計画 Business Continuity Plan）

平常時の議会とは異なり、災害時には“住民の命と尊厳を守る”ことであり、そのためには町当局と協働し、国や都に要望を働きかけることだという。

議員は情報の一元化、行政に負担をかけない議会運営をすることが重要であり、そして地域住民は、何より人や地域のつながり＝ご近所力が安心・安全の源泉であると訴えた。

災害時の議員としての心構え、住民の役割など分かりやすい内容でしたが、八丈町では、地域住民のつながりが強いので、公助の部分は実現できているという感想を持った。